

(講座) 分子創薬科学 (研究室) 細胞制御学
(氏名) 河野通明 (職名) 教授

【研究テーマ】

1. MAP キナーゼ系の機能亢進と細胞がん化の相関
2. MAP キナーゼ系の機能制御を指標とした新規抗癌剤の開発
3. 微小管機能阻害によるアポトーシス誘導機構の解明

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. Tanimura, S., Kadomoto, R., Tanaka, T., Zhang, Y., Kouno, I. & Kohno, M. Suppression of tumor cell invasiveness by hydrolysable tannins (plant polyphenols) via the inhibition of matrix metalloproteinase-2/-9 activity. *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, **330**, 1306-1313 (2005) [IF: 2.904]
2. Oka, H., Chatani, Y., Kohno, M., Kawakita, M. & Ogawa, O. Constitutive activation of the 41- and 43-kDa mitogen-activated protein (MAP) kinases in the progression of prostate cancer to an androgen-independent state. *Int. J. Urol.*, **12**, 899-905 (2005) [IF: 0.670]
3. Ozaki, K., Miyazaki, S., Tanimura, S. & Kohno, M. Efficient Suppression of Fibroblast Growth Factor-2-induced ERK Activation by the Cooperative Interaction among Mammalian Sprouty Isoforms. *J. Cell Sci.*, **118**, 5861- 5871 (2005) [IF: 6.910]

B 邦文

(B-c) 著書

1. 河野通明、野元裕、竹家達夫 「がん遺伝子による細胞のトランスフォーメーション」 (分担執筆) 生物薬科学実験講座 第2巻 (II) 核酸 (杉浦幸雄編、廣川書店) 267-286 頁、2005 年
2. 河野通明 「細胞増殖因子によるタンパク質チロシンリン酸化反応の促進」 (分担執筆) 生物薬科学実験講座 第7巻 (II) シグナル伝達と細胞機能 (石橋貞彦・市川厚・堅田利明編、廣川書店) 567-580 頁、2005 年
3. 尾崎恵一、河野通明 「情報伝達関連タンパク質」 (分担執筆) タンパク質科学イラストレイテッド (竹縄忠臣編、羊土社) 211-224 頁、2005 年

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. M. Awazu, H. Fujita, M. Hida, H. Takahashi, S. Tanimura, M. Kohno, & S. Omori: Treatment of murine polycystic kidney disease with an oral MEK inhibitor. The 38th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Philadelphia (2005)

2. M. Awazu, H. Fujita, M. Hida, H. Takahashi, S. Tanimura, M. Kohno, & S. Omori: ERK Inhibition Slows Disease Progression in Mice with Polycystic Kidney Disease. The 1st Congress of the Asian Society for Pediatric Research, Tokyo (2005)

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 谷村 進、平野 愛、河野 通明：HspBP1 の抗がん剤処理に応答し細胞死誘導増強の分子機構、第9回がん分子標的治療研究会、京都
2. 藤原 雄介、谷村 進、河野 通明：PI3K 阻害剤と微小管重合阻害剤の併用によるアポトーシス誘導増強の分子機構、第9回がん分子標的治療研究会、京都
3. 谷村 進、平野 愛、川畑 拓誠、橋詰 淳哉、河野 通明：HspBP1 の抗がん剤処理に
応答した細胞死誘導増強の分子機構、第6回文部科学省特定領域研究「がん」5領域若
手研究者ワークショップ、長野
4. 尾崎恵一、岸川二葉、河野通明：卵巣癌細胞株のDNA 傷害性抗癌剤に対する感受性は
ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤との併用によって大幅に増強される、第64回日本癌
学会学術総会、札幌
5. 岸川二葉、田中将人、尾崎恵一、河野通明：ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤との併用
によるヒト卵巣癌細胞株のシスプラチン感受性増強作用、第28回日本分子生物学会年
会、福岡
6. 高野大樹、藤原雄介、尾崎恵一、河野通明：PI3 キナーゼ/Akt 経路遮断剤とドキシソルビ
シンとの併用による細胞死誘導増強—セラミドの役割、第22回日本薬学会九州支部大
会、福岡
7. 小村 大輔、谷村 進、河野 通明：新規 Cbl 結合タンパク質 SH3P2 の機能解析、第22
回日本薬学会九州支部大会、福岡
8. 松永 良美、稲田 善行、和泉 伸一、小路 武彦、谷村 進、河野 通明：c-Jun N-terminal
Kinase による細胞質分裂の制御、第22回日本薬学会九州支部大会、福岡
9. 栗津緑、藤田尚代、飛弾麻里子、高橋久英、谷村進、河野通明、大森さゆ：ERK 阻害
によるマウス多発性嚢胞腎進展抑制、第14回発達腎研究会、東京

【研究費取得状況】

1. MAP キナーゼカスケードを構成するシグナル分子を標的とした細胞増殖阻害物質の検
索；文部科学省科学研究費・特定領域研究
2. 多様な細胞機能の制御における MAP キナーゼ系の役割；文部科学省科学研究費・基盤
研究 (B)

【学会役員等】

1. 日本生化学会、評議員
2. がん分子標的治療研究会、世話人
3. 日本薬学会、九州支部監査

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	62 編	(邦文)	0 編
総説 (欧文)	1 編	(邦文)	22 編
著書 (欧文)	2 編	(邦文)	8 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	5 編
特許	2 件		